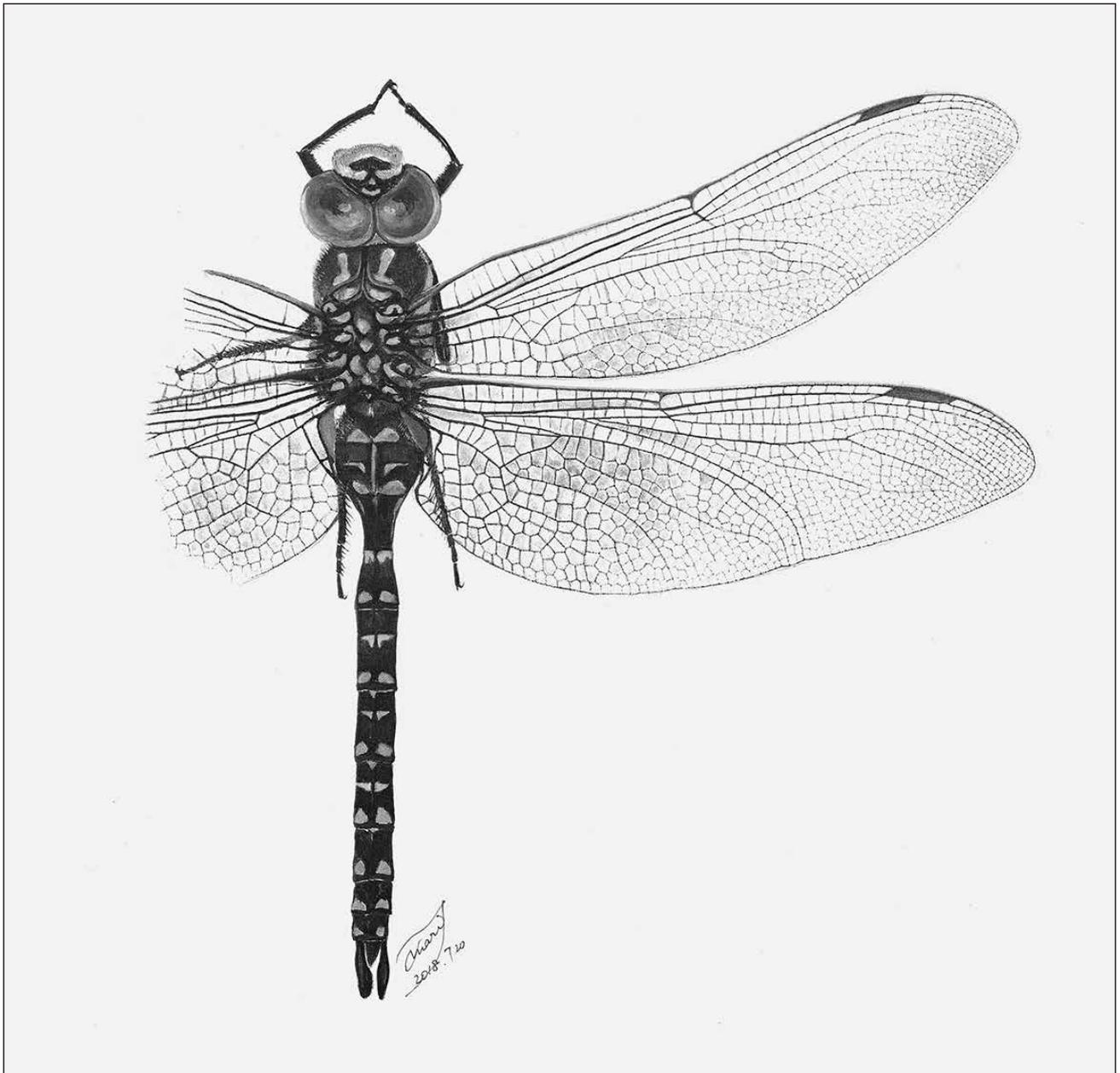


Science Report of Kushiro City Museum

# 釧路市立博物館報

NO.422



2018.9

## 釧路ブランドを地域に、そして世界に。

「このごろ博物館がとても元気なんだよね」

「うん、うん、ネットでポスターシリーズを見たよ。また行きたくなっちゃった」

これは2年ほど前の、私ととある友人との会話です。友人は結婚を機に釧路を離れましたが、もともと考古好きということもあって、帰省の際に時間を作って博物館や埋蔵文化財調査センターに足を向けていました。

冒頭のひと言は、博物館ファンの彼女を喜ばせたい思いから出た言葉ではありませんが、「博物館が元気」は、そのときの私の正直な感想でした。新聞やインターネットなどさまざまな媒体で、博物館の活動を目にすることがとても多くなっていたからです。

そんな縁があったからでしょうか、平成30年度の人事異動で博物館館長を拝命し着任してみると、その「元気」の源がわかります。若い学芸員たちのアイディア、それを形にする不断の努力とチームワーク、バックアップしてくれる友の会の存在……。

近年、博物館については生涯学習施設としての役割だけでなく、観光施設の役割もクローズアッ

プされています。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、国を挙げてインバウンドの増加に取り組んでいるところ、当館も釧路を代表する観光ゲートウェイ施設のひとつとして、大きな役割を担っており、ここ数年の外国人観光客は倍々の勢いで伸びてきました。また、3万人台にまで回復した入館者のうち、実に6割が釧路地域の外、遠方からのお客さまとなっています。

限られた予算や施設老朽化などの課題に向き合いながら、集積された知見と持てる資産を最大限に活かして釧路ブランドを地域と世界に知らしめる。その一翼を博物館で担いたい。

この場所で仕事ができる喜びを力に変え、博物館ファンのみならず、地域を愛するみなさまのお力添えをいただきながら、釧路の魅力を地域へ、国内へ、そして世界へ発信するお手伝いをする所存です。

これからも、釧路市立博物館をどうぞよろしく願います。

釧路市立博物館 館長 佐藤 志敦

## 9月号目次

火山ガラス分析による道東出土の亀ヶ岡系土器・晩期在地系土器の製作地推定 ……………関根達人・近藤美左紀・柴 正敏	3
プレ夏休み講座2018「アイヌ・デザイン～スケッチと刺しゅう～」 ……………城石 梨奈	9
企画展「北加伊道・松浦武四郎のエゾ地探検」関屋敏隆絵本原画展を開催 ……………石川 孝織	10
「はっくん」がミュージアムキャラクターアワード2018に参加しました……加藤ゆき恵	11
チャランケチャシ……………貞國 利夫	11
博物館ニュース……………	12



生物細密画展会場の様子

〈表紙写真〉 7月14日～9月30日に、企画展「田中眞理 生物細密画展～昆虫を描く」を開催しました。本企画展のために、田中眞理さんが釧路ゆかりの昆虫イジマルリポシヤンマを描いてくださいました。「瑠璃色の星」をカラーでお目にかけられないのが残念ですが、トンボの体の細かい造形をご覧ください。(加藤ゆき恵)

釧路市立博物館館報 No.422 2018年9月号 2018年(平成30年)9月30日発行

発行 釧路市立博物館 〒085-0822 釧路市春湖台1-7

☎ 0154-41-5809(博物館)・43-0739(埋蔵文化財調査センター)/ FAX 0154-42-6000

釧路市立博物館Web <http://www.city.kushiro.lg.jp/museum/>

[museum@city.kushiro.lg.jp](mailto:museum@city.kushiro.lg.jp)(博物館) [maibun@city.kushiro.lg.jp](mailto:maibun@city.kushiro.lg.jp)(埋蔵文化財調査センター)

発行責任者 佐藤 志敦 編集 貞國 利夫・石川 孝織 印刷 (株)藤プリント